

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	212	学校名	仙台市立南小泉中学校	校長名	五十嵐 秀樹
------	-----	-----	------------	-----	--------

1 取組のタイトル

「よりよい南小泉中にするために」



2 取組の紹介

(1) 学校の美化活動

南小泉中学校では例年、2学年に職場体験活動があります。その中で学校技師のお仕事を体験する生徒もいました。校内の掃除や道具の手入れを行うことで、学校にあるものを大切に使う意識を持たせることがねらいとなっています。具体的には花壇の花の手入れ、窓の水拭き、図書室の机の磨きなどを行いました。



(2) SDG s 委員会による校内重点清掃・清掃用具点検

SDG s 委員会では夏休み、冬休みの前に校内の重点清掃を行っています。普段の清掃では掃除しない教室の窓拭き、窓やドアのレール磨き、掃除ロッカー内の掃除など細かいところまでSDG s 委員が掃除します。夏休みや冬休み明けにきれいな教室で気持ちよく学校生活をスタートさせたいという思いからこの重点清掃が始まりました。中にはSDG s 委員ではない生徒も協力する姿が見られました。

2学期からは週末の清掃用具点検もスタートしました。清掃用具に異状はないかを確認したり、ほうきについている埃を取り除く活動を行ったりしています。清掃用具をきれいにしておくことによって月曜日の清掃のモチベーションを上げる目的や、清掃用具が壊れてうまく掃除ができないことや清掃用具が壊れたまま放置されていることを防ぐ目的があります。

3 取組の成果

南小泉中学校は住み続けられるまちづくりの第一歩として自分たちの中学校をきれいにする取組を行いました。重点清掃できれいに掃除することで普段の掃除からきれいにしようとする姿が見られました。重点清掃では次第に「ここにまだ埃が残っているよ」や「もっと窓をきれいに磨けそう」などといった前向きな声が出てくるようになり、学校をより過ごしやすい場所にしようとしていると感じました。また、清掃用具の点検をSDG s 委員会が行っている姿を見て、清掃用具を大切にしようとする人が増えました。これらの活動を継続して行っていくことにより、南小泉中学校を大切に思う生徒を増やしていきたいと考えています。